

平成 28 年 1 月 8 日

**公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会議事録（1 月期）**

【出席者】（敬称略）

濱田、石橋、石丸、沖津、木村、葉木、坂内、澤野委員長、事務局天寺

1. 濱田代表理事 挨拶

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいいたします。

日本列島各地で地震動を観測しています。首都直下地震がいつ来てもおかしくないような雰囲気がありますが、いつ来てもいいように備えていく 1 年にしていききたいと思います。

2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告

別添資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

別添資料「運営委員会 議事」のとおり。

▶ 理事会報告

- ・ 地区運営委員会の（県ネット役員会）会議開催に関する日常のランニングコストは、社団の会計の中で捻出する。訓練やイベントについては、事業費としてその都度企画し理事会に費用を請求する形とする。
- ・ 災害救援ボランティア推進委員会時代にあった登録費を原資とする「石原基金」（活動支援金）は社団設立により消滅となった。社団事業では、会員からの年会費を原資として賄うのが基本だが、それだけでは賄えない不足分をイベントの共催として支援していく。
- ・ 「防災指導者実践コース（仮称）」プロジェクトチームを今後立ち上げていく。地域活動していくためのノウハウや活動者として「何を、どう」展開していくのかを学べるコースを考えている。2016 年上半期はカリキュラム等を検討し、下半期にテストランを行う計画。

▶ 次回理事会は 2 月 5 日（金）午前 10 時から

4. 各地域の活動報告

<千葉県>

▶ 県ネット（片桐）

- ・ 1/19 千葉県災害対策コーディネータースキルアップ講座。推進委員会が受託。
- ・ 1/12 県ネット役員会。1/23 活動報告会へ向けた打合せ。
- ・ 県社協広域支援の県災害ボランティアセンターマニュアル策定員会に県ネットとして参加。災害時の SL 県ネットの動きとも連動してくる。

▶ 船橋ネット（片桐）

- ・ 1/21 船橋市で消防・警察等による初めての図上訓練を実施予定。SL は 1 名の枠をもらったので参加。
- ・ 1/16, 17 横須賀市浦賀小学校 避難所宿泊訓練へ参加
- ・ 1/31 船橋防災フェア開催。SL 講座講師の鍵屋一氏が講演。
- ・ 7 月市民祭りにて商工会議所のスペースで 3 日間 23,24,25 日（予定）防災カフェ予定

▶ 千葉中央ネット（坂内）：添付資料参照。

- ・ 千葉中央ネット総会が 12 日に実施。約 30 名の参加。

- ・ 市原市ネットの会合報告、今までは会費を取らずに、ワンコイン徴収で場当たりの費用の徴収を行っていたが、年間 1000 円の会費を徴収することになった。訓練等については受益者負担で実施することにした。

▶ 印旛ネット（石橋）

- ・ 1/14 11 の自主防災会連合会の研修に参加。
- ・ 2/21 八街市防災訓練の参加要請。佐倉市での防災イベントへの参加要請がある。

<神奈川>

▶ 神奈川県（濱田）

- ・ 2/1 活動報告会。
- ・ 2/3 川崎市高津市公民館からの講演依頼。座間の露木 SL に依頼。座間メンバーが支援。

▶ 座間市（濱田）

- ・ 座間市では避難所運営委員会の共同事業を実施。避難所に来ないことを伝えている。
- ・ 1/23 フルスケール訓練。3号配備に参集させる。3号配備要員 714 名のうち、460 名が参加する予定。8 キロ圏は徒歩で 9 時に参集召集がかかる 20 キロ圏は座間市境の最寄駅まで電車で来て、あとは徒歩。内容は、避難所の開設。防災庫を開くまでを職員が実施する。市職員に災害時行動の動機づけを持たせる。
- ・ ZSVN はエイドステーションを支援。携帯の電源供給のデモを行う。同日行うシェイクアウト訓練は登録者 43000 人を超えている。今回も秋田県大仙市、須賀川市と姉妹都市で、一緒に訓練を行う。災害対策本部訓練。
- ・ 1/18～21 防災カフェ 市役所 1 階ホール 10:00～16:00 食う出す飲む電気 災害食の試食等を行う予定
- ・ フェイスブックの広告利用。1000 クリック 1600 円で広告を打てる。ためしに座間防災カフェのイベントを登録した。色々なツールを使って広報周知を図ることを考えていくべき。

▶ 秦野市（石丸）

- ・ 西湘ネットの会合。会議だけでは集まらないのでイベントをやって人を集める。3/13 小田原にて DIG を予定。

▶ 藤沢市（葉木）

- ・ 2 月下旬に湘南ネットで会合。20 名集まった。会員の発掘をしていく。打診して郵送だけでも送りたいが、郵送代が問題。切手代をもらう等検討している。
- ・ 地域ネットの会合では、会議だけでなく勉強会も企画する。例えば地元の炊き出しをする上で、衛生面、配膳、食器、ごみなどの資材などの点についてワークショップをする。県ネットの活動とはメリハリをつけて活動を行っていく予定。

▶ 横浜市（沖津）添付資料参照のこと

- ・ 12/10 役員会。会計中間報告を行った。

5. 各部会の活動報告

▶ 福祉部会/応急部会...なし

- ▶ 情報部会...情報提供：常総市の生活相談にて。住民票がない住民への罹災証明発行の問題が出た。

【次回の開催日】 2月5日（金）13時30分～

2015年12月の事業報告と今後の予定

(1月8日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

全体事項 2016年の流れ

- 1月 防災とボランティアの日
- 3月 東日本大震災5年 6年目以後助成金大幅削減か
- 6月 参議院選挙
- 8月 リオデジャネイロ五輪 東京五輪
- 9月 防災の日
- 11月 津波防災の日(世界津波防災の日に)

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・12/3 高浜町長 高浜原発再稼働同意表明
- ・12/22 福井県知事 高浜原発再稼働同意表明
- ・12/24 福井地裁 高浜原発運転差し止め仮処分取消
- ・12/12 COP21(気候変動パリ会議)パリ協定採択
- ・1/6 北朝鮮 「水爆」実験の声明

1-2 災害,大規模事故分野

[国内]

- ア 地震(気象庁発表で震度5強以上, M6.5以上、首都圏は震度4以上)
 - ・12/17 内閣府「南海トラフ沿いの巨大地震による長周期地震動に関する報告」
- イ 火山
 - ・12/11 噴火時等の避難計画の手引き作成委員会(第1回)
- ウ 風水害
 - ・12/24 内閣府「防災4.0」未来構想プロジェクト(第1回)
 - (1.0 伊勢湾台風 2.0 阪神大震災 3.0 東日本大震災 4.0 気候変動災害)
- オ 事故等

[海外]

- ア 地震(USGC発表、M7以上又は報道等で犠牲者多数)
 - ・12/4 国連 「11月5日」を世界津波の日に制定決議
 - ・12/4 地震 M7.1 南東インド洋海嶺
 - ・12/7 地震 M7.2 タジキスタン
- イ 自然災害
 - ・12/10 気象庁 エルニーニョ監視速報 最盛期
 - ・12/11 台風 27号発生、観測史上初の通年発生
 - ・12/21 気象庁 世界の平均気温が観測史上最高、日本は過去4番目。
- ウ 事故等

1-3 防災行政等の動き

- ア 政府

- ・ 1/1 憲法改正、災害想定「緊急事態条項」の追加から着手方針

イ 自治体

ウ 被災地状況

- ・ 避難・転居者数（復興庁発表） 18万 2000人 前月比 - 4602人 12/10 現在

1-4 災害ボランティア等の動き

従前の方式、枠組に変化

- ・ 12/17 内閣府「広く防災に資するボランティア活動の促進に関する検討会」
- ・ 「災害時の連携を考える全国フォーラム」 2/12-13

主催：全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）準備会

1-5 注目すべきメディアと書籍、イベント等

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア 全体的な到達点

本部講座 8,995人 公認講座 1,860人* 計 10,855人 1/7 現在

講座開催と受講生確保の困難に直面 打開に向けた方策を

イ 本部主催のS L養成事業

- ・ [中止] 横須賀講座 12/5-12-19
- ・ [募集] 立教大学講座 2/26-17 3/5

ウ 大学等受託のS L養成事業

- ・ [終了] 飯田市講座 12/6-13-19

エ 災害ボランティアリーダー等養成事業

JBU パワーバンク講座（第12期）

- ・ [終了] 東コース 福島磐梯熱海 12/10-11
- ・ [予定] 中コース 岐阜下呂 1/22-23
- ・ [予定] 西コース 熊本玉名 1/29-30

B、防災/減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

- ・ [予定] 首都直下地震大学生の集い 1/28

イ 本部受託の事業

ウ 他主催の事業への協力

C、各地域の災害ボランティア活動報告

D、その他

2-2 総合的な防災事業

A、シェイクアウト事業（防災訓練事業）

ア 全体的な到達点 2015年 累計約 521万人、世界で 4400万人

イ 特徴的な動き 12/17 愛媛 30万人県民 20%(138万人)

1/14 神戸 1/23 座間 2/2 水戸

B、防災教育推進事業

ア 防災教育チャレンジプラン(内閣府共催)事業

- ・[報告]12/8 次年度団体決定 過去最高の応募者数
- ・[宣伝]防災教育の手引きの増刷完成と配布

イ 防災教育普及事業

- ・[報告]東京都公園事業指定管理者 内定 3グループ 17箇所
- ・[予定]1/22 防災教育を中心とした学校安全フォーラム 宮城岩沼市

ウ 学校・団体等防災教育推進事業

- ・[各地]学校での防災教育支援

C、被災者生活再建支援事業

D、防災研究事業

- ・[予定] 都市減災サブプロ全体 WS 1/21-22 神戸

以上

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク

運営委員会 議事

【理事会報告事項】

1. 2015年（平成27年）事業の振り返り
 - ・ 社団として活動した県ネット単位の活動については、年表にまとめ総会で報告する
2. 県ネットの運営費用について
 - ・ 地区運営委員会（県ネット役員会）の開催に関する費用については、社団の会計の中で捻出。
 - ・ 通称「県ネット運営補助金」と称する。
 - ・ 県ネット運営補助金額の根拠を県ネット正会員数（前年の事業末日の正会員数を基準）に120円程度の費用を各県ネットの運営補助費（会議開催に関する管理費）として使えるようにする（人担割り）。
 - ・ 訓練やイベント（県ネット合同訓練、防災ギャザリングなど）の費用については、基本は、受益者負担で参加費をとるが、必要経費については、事業費として別途、必要経費を本部に請求する（従来通り）
 - ・ 県ネットでは口座を開設し、県ネット内に会計・監事を置き、12月末に収支報告を理事会に提出する。
 - ◇ 石原基金について...
3. 役員選挙の件（理事および本部運営委員の選出までの流れ）

月日	内容
1月各部会	部会選出枠の運営委員の推薦者を決める
1月8日（金）午前	第13回理事会
1月23日（土）	千葉県ネット活動報告会にて本部運営委員の推薦者を決める
2月1日（月）	神奈川県ネット活動報告会にて本部運営委員の推薦者を決める
2月5日（金）10時まで	本部運営委員の推薦書を理事会宛てに提出
2月5日（金）午前	第14回理事会にて本部運営委員の承認
2月5日（金）午後	運営委員会にて理事選出を役員選挙規程に基づき話し合う この回の運営委員会には2016年次の運営委員も参加
2月5日（金） ～26日（金）	理事候補者の立候補届および推薦書の提出期間
3月5日（金）午前	第15回決算理事会（総会議案承認）
3月5日（金）午後	運営委員会 第2回選挙管理委員会にて理事候補者一覧を作成
3月7日（月）～	第3回定時社員総会の議案および出欠ハガキの送付開始
3月26日（土）	第3回定時社員総会にて理事の選出

- < 運営委員定員 > 運営委員会規則 § 5 (定数)
- 地域枠：東京・神奈川・千葉・埼玉 (各 2 名以内)
 - 専門部会枠：福祉・情報・応急 (各 1 名)
 - 運営委員会推薦：(2 名以内)

1/18 埼玉県在住 SL による初会合

4. 報告事項：H28 年会費納入確認とボランティア保険証書発送について
 - ・ H28 年会費納入者には、追って入金確認ハガキ (兼領収書) を送付予定。
 - ・ ボランティア保険加入者には、保険証書のコピーを 4 月のニュースレター発送時に同封。

5. 報告事項：「防災指導者実践コース (仮称)」プロジェクトチームについて

6. 次回運営委員会
2016 年 2 月 5 日 (金) 13 時 30 分 ~

上記の各種別紙は HP には掲載していません

以上